



2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年2月10日

上場会社名 株式会社ベネフィットジャパン 上場取引所 東
 コード番号 3934 URL <http://www.benefitjapan.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐久間 寛
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長兼総務部長 (氏名) 松下 正則 TEL 06 (6223) 9888
 四半期報告書提出予定日 2023年2月10日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	9,449	8.6	631	△45.2	620	△47.1	253	△66.6
2022年3月期第3四半期	8,704	20.1	1,152	8.3	1,173	7.4	757	1.2

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 253百万円 (△66.6%) 2022年3月期第3四半期 757百万円 (1.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	42.54	42.24
2022年3月期第3四半期	127.61	126.52

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第3四半期	9,905	6,361	64.2	1,068.30
2022年3月期	10,062	6,155	61.2	1,034.96

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 6,361百万円 2022年3月期 6,155百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	9.00	9.00
2023年3月期	—	0.00	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	—	—	9.00	9.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,483	7.9	946	△37.2	925	△39.6	466	△55.6	78.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期3Q	5,956,154株	2022年3月期	5,948,139株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	1,515株	2022年3月期	429株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期3Q	5,950,686株	2022年3月期3Q	5,933,951株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の行動規制が緩和されたものの、ウクライナ情勢の長期化に伴う原材料価格の高騰、円安の進行など、依然として先行き不透明な状況が継続しております。

このような状況の中、当社グループは、当社グループは、契約回線数前年同月比15.0%増によるストック収入の増加やロボット事業における新規獲得件数増により増収となりました。しかし、ロボット事業において販売人員及び販売促進費を増加させ事業拡大を図ったものの想定した新規獲得件数に届かなかったこと、量販事業部立ち上げに伴う先行投資費用が発生したこと、新型コロナウイルス感染症に伴う行動規制が緩和されたことで大手通信キャリアや他企業による各種イベントが多数行われ、優良店舗の確保が難しかった等の要因で減益となりました。また、一部代理店の信用状態悪化に伴い当社債権の回収見通しが不透明となったことから、現時点で認識される債権の全額に対して引当金計上を行いました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は売上高9,449,514千円（前年同期比8.6%増）、営業利益631,386千円（同45.2%減）、経常利益620,167千円（同47.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益253,140千円（同66.6%減）となりました。

(モバイルWi-Fi事業)

モバイルWi-Fi事業は、「ONLYMOBILE」、「Only Customize Plan」（注1）、モバイルWi-Fiのレンタル事業（NETAGE）やMVNE（注2）事業を総称したサービスで、また、それらの付帯サービスとして、インターネットオプションサービスやコンテンツ等の「ONLYOPTION」の提供を行っております。

コミュニケーションセールスにおいて、新型コロナウイルス感染症に伴う行動規制が緩和されたことで大手通信キャリアや他企業による各種イベントが多数行われ、優良店舗の確保が難しかったことから遠方店舗や大型店舗を中心に稼働し販売コスト増となりましたが、新規獲得件数は前年同期と同水準で推移しております。代理店に関しては、大口代理店の販売縮小に伴い新規獲得件数が減少しているものの、MVNEとして提供した外国人労働者、留学生対象のプリペイドSIMの販売数が拡大し、ストック収入の増加に寄与しました。レンタルWi-Fiにおいて、法人は新人研修等の需要増、個人は旅行需要の回復に伴い引き続き堅調に推移しましたが、定期的発生するモバイルルーター端末の劣化に伴い、端末を購入したため減益要因になりました。

その結果、売上高7,243,084千円（前年同期比5.9%増）、営業利益1,549,672千円（同0.2%減）、モバイルWi-Fi契約回線数206,200（前年同月比12.9%増）となりました。

(ロボット事業)

ロボット事業は、コミュニケーションロボットとSIMカードをパッケージ化した「ONLYROBO」を販売し、その付帯サービスとして「安心保障サービス」や「ロボホンPrime」等の「ONLYOPTION」の提供を行っております。また、コミュニケーションロボットのプラットフォームを目指し、「新しい家族に出あえる」をコンセプトにしたロボットショップ“Robot Planet（ロボットプラネット）”を全国で展開しております。

新規獲得件数は、人材を増強しPOP UPストアを拡大したこと、量販事業部において、家電量販の株式会社エディオンでの当社の取り扱うコミュニケーションロボットの販売開始したこと、地方でのCM施策による認知度向上やWEB予約の広告強化に伴う予約来店数増等により増加しました。売上高については前年同期に比べ34.9%増加しましたが、販売人員、広告費用等の販売促進費、遠方店舗及び大型店舗での稼働増加等により販売コストが大幅に増加し、大きな減益要因になりました。なお、第3四半期連結会計期間において、販売人員及び広告費用等の販売コスト適正化、優良店舗の確保などの施策を実施し、営業利益は改善傾向にあります。

その結果、売上高2,003,290千円（前年同期比34.9%増）、営業損失627,087千円（前年同期は営業損失165,987千円）、コミュニケーションロボット契約回線数21,600（前年同月比39.6%増）となりました。

以上のことから、当第3四半期連結会計年度末における契約回線数及びその他サービス利用者数は以下の通りとなりました。

	2022年12月末	2021年12月末	前年同月比
契約回線数 (回線)	227,800	198,100	15.0%増
モバイルWi-Fi	206,200	182,600	12.9%増
コミュニケーションロボット	21,600	15,400	39.6%増
その他サービス利用者数 (人) (※)	84,200	80,100	5.1%増

(※) 当連結会計年度よりモバイルWi-Fiのレンタル事業の契約回線数を含めて表記しております。その変更に伴い、前年同月の契約回線数にモバイルWi-Fiのレンタル事業の契約回線数を含めて表記しております。

(その他)

その他については、主に天然水宅配事業とハウスペンダー事業を行っております。天然水宅配事業につきましては、営業活動を縮小しているため保有顧客数が減少し、売上高、営業利益とも減少いたしました。また、ハウスペンダー事業につきましては、売上高は増加したものの、営業利益は若干減少しております。

その結果、売上高203,140千円（前年同期比46.7%減）、営業利益53,808千円（同31.6%減）となりました。

(注1) 「Only Customize Plan」とは、当社傘下代理店が企画したサービスや価格を反映し、代理店のオリジナルブランドのサービスとして顧客に回線提供を行うプランであります。

(注2) 「MVNE」とは、大手キャリアより回線を借り受けて、MVNOに回線を卸す事業者のことであります。

(2) 財政状態の分析

① 資産

当第3四半期連結会計期間末の流動資産は9,008,839千円となり前連結会計年度末と比べ340,187千円減少いたしました。これは、主として割賦販売による割賦売掛金の増加79,614千円、受取手形及び売掛金の増加32,287千円、現金及び預金の減少370,834千円、商品の減少52,767千円、等によるものです。固定資産は896,887千円となり前連結会計年度末と比べ183,212千円増加いたしました。

② 負債

当第3四半期連結会計期間末の流動負債は2,500,171千円となり前連結会計年度末と比べ1,262,397千円減少いたしました。これは、主として短期借入金の減少1,350,000千円、未払法人税等の減少236,801千円等によるものです。固定負債は1,044,236千円となり前連結会計年度末と比べ899,731千円増加いたしました。これは、主として長期借入金の増加900,093千円等によるものです。

③ 純資産

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、新株式の発行による増加6,079千円、配当金の支払いによる減少53,529千円、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上(253,140千円)により、前連結会計年度末と比べ205,691千円増の6,361,319千円となりました。

(3) 優先的に対処すべき事業上及び財務上の課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが優先的に対処すべき課題について重要な変更はありません。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年11月10日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,824,930	2,454,096
受取手形及び売掛金	1,162,723	1,195,011
割賦売掛金	5,158,689	5,238,303
商品	392,034	339,266
その他	79,071	117,522
貸倒引当金	△268,422	△335,361
流動資産合計	9,349,026	9,008,839
固定資産		
有形固定資産	75,326	200,243
無形固定資産		
のれん	182,788	127,951
その他	67,786	97,355
無形固定資産合計	250,574	225,307
投資その他の資産		
その他	452,376	677,872
貸倒引当金	△64,603	△206,535
投資その他の資産合計	387,773	471,336
固定資産合計	713,674	896,887
資産合計	10,062,701	9,905,726
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	268,641	287,386
短期借入金	2,000,000	650,000
1年内返済予定の長期借入金	60,000	349,992
リース債務	482	482
未払法人税等	260,551	23,749
賞与引当金	98,813	111,775
役員賞与引当金	1,000	11,250
株主優待引当金	1,071	—
資産除去債務	—	12,360
その他	1,072,008	1,053,175
流動負債合計	3,762,568	2,500,171
固定負債		
長期借入金	90,000	990,093
リース債務	1,285	924
資産除去債務	23,943	23,943
その他	29,275	29,275
固定負債合計	144,505	1,044,236
負債合計	3,907,073	3,544,407
純資産の部		
株主資本		
資本金	648,408	651,448
資本剰余金	271,788	274,828
利益剰余金	5,235,936	5,435,547
自己株式	△506	△506
株主資本合計	6,155,628	6,361,319
純資産合計	6,155,628	6,361,319
負債純資産合計	10,062,701	9,905,726

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	8,704,598	9,449,514
売上原価	3,859,950	4,335,573
売上総利益	4,844,648	5,113,940
販売費及び一般管理費	3,691,926	4,482,554
営業利益	1,152,722	631,386
営業外収益		
受取利息	39	38
雇用調整助成金	16,623	927
貸倒引当金戻入額	502	416
受取手数料	4,202	4,397
その他	3,733	1,040
営業外収益合計	25,101	6,820
営業外費用		
支払利息	4,704	5,679
事務所移転費用	—	12,360
営業外費用合計	4,704	18,039
経常利益	1,173,119	620,167
特別損失		
貸倒引当金繰入額	—	126,918
システム開発中止に伴う損失	22,397	—
特別損失合計	22,397	126,918
税金等調整前四半期純利益	1,150,722	493,249
法人税、住民税及び事業税	419,323	256,065
法人税等調整額	△25,844	△15,956
法人税等合計	393,479	240,108
四半期純利益	757,243	253,140
親会社株主に帰属する四半期純利益	757,243	253,140

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	757,243	253,140
四半期包括利益	757,243	253,140
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	757,243	253,140

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	モバイルWi-Fi事業	ロボット事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,838,212	1,485,050	8,323,262	381,336	8,704,598
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	6,838,212	1,485,050	8,323,262	381,336	8,704,598
セグメント利益	1,553,361	△165,987	1,387,374	78,667	1,466,041

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、当社グループが行っている天然水宅配事業及びハウスベンダー事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,387,374
「その他」の区分の利益	78,667
全社費用(注)	△313,319
四半期連結損益計算書の営業利益	1,152,722

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	モバイルW i-Fi事業	ロボット事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,243,084	2,003,290	9,246,374	203,140	9,449,514
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	7,243,084	2,003,290	9,246,374	203,140	9,449,514
セグメント利益	1,549,672	△627,087	922,584	53,808	976,392

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、当社グループが行っている天然水宅配事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	922,584
「その他」の区分の利益	53,808
全社費用（注）	△345,006
四半期連結損益計算書の営業利益	631,386

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。